

広報

なすからすやま

No.195



2021

12
December

いっぱいどれたよ!
(11月21日、小木須ミカン園)

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



特集 高齢者ふれあいの里	2
川侯市長 2 期目スタート	7
市政功労伝達式	8
衆議院議員総選挙の投開票結果	9
市民に栄える叙勲	10
インフォメーション	14
なすから特派員通信	16

地域ので10年！

高齢者ふれあいの里

～介護予防の居場所づくりから

支え合いの地域づくりへ～

市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することを目指し、地域全体で高齢者を見守り、支え合うための事業を行っています。

今回は、その主要事業であり、令和2年度に「第9回健康寿命をのばそう！アワード」の介護予防・高齢者生活支援分野で厚生労働大臣優秀賞を受賞した「高齢者ふれあいの里事業」を紹介します。

また、今年10周年を迎えた「向田ふれあいの里」の活動の様子に加え、利用するお年寄りやふれあいの里事業を支えるスタッフの皆さんへのインタビューも紹介します。



(図1) 向田ふれあいの里の3つの機能

向田ふれあいの里の3つの機能

ふれあいレストラン



**食事支援と食を通した
コミュニケーションの場**

日時：毎週火曜・金曜日
午前10時～午後2時
料金：300円(65歳以上)
500円(一般)

地域の茶の間



**お茶やおしゃべりができる
ミニデイサービス的な居場所**

日時：毎週火曜日
午前10時～午後2時
料金：100円

ふれあい塾



**軽体操や脳トレで
介護予防と認知症予防**

日時：毎週金曜日
午前9時30分～11時
料金：無料

本市の現状

令和3年4月から「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」が始まりました。現在、市の高齢化率は37%を超え、栃木県内でも上位にあります。さらに、高齢者世帯や一人暮らしの高齢者は毎年増加し、人口減少と少子高齢化が同時に進んでいる状況です。

市では、計画に基づき、高齢者が要介護状態になることを防ぐとともに、要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、「地域包括ケアシステム」の推進を行っています。

新たな介護予防拠点の誕生

今から10年前、平成22年当時の介護予防の取り組みとして、市内自治会の約半数にあたる43か所において毎月1回「いきいきサロン」を開催していましたが、月1回では効果が表れにくい、会場までの交通手段の問題、マンネリ化、スタッフ不足などの課題が山積していました。

また、地域ではいきいきクラブなどに加入する人が減り、高齢者が地域で気軽に集まれる場が少なくなっていました。そうした中、

廃校になった向田小学校校舎の有効活用として、地元の皆さんと検討を重ね、1年の準備期間を経て、平成23年11月に誕生したのが複合型介護予防の拠点「向田ふれあいの里」です。(写真1)

向田ふれあいの里の目標と機能(図1)

■高齢者の生きがいづくり

高齢者がふれあいの里に参加することで楽しみを増やし、生きがいにつながる。また、高齢者を支援することにより支援者(スタッフ)の生きがいにつながる。

■地域で支え合う体制づくり

市民協働の事業を促進するため、自助・互助・支え合いの地域づくりを行うモデル地区となる。

■介護予防事業の充実

プログラム化された教室ではなく、市民参加型の地域の特性を活かした居場所づくりが行える。

〈ふれあいレストラン〉

レストラン運営は、地元の食生活改善推進員などを中心に地域の主婦が担当しています。メニューは週替わりで1食300円。多様な食事内容は評判がよく利用者が



(写真1) 向田ふれあいの里開所式

増加し、平成25年からは、週1回から週2回の開催となりました。高齢者以外にもランチを楽しみにしている人も多く、男女問わず人気があります。スタッフは「おいしかった」と言ってもらえることが励みになり、メニュー作りにも力が入ります。

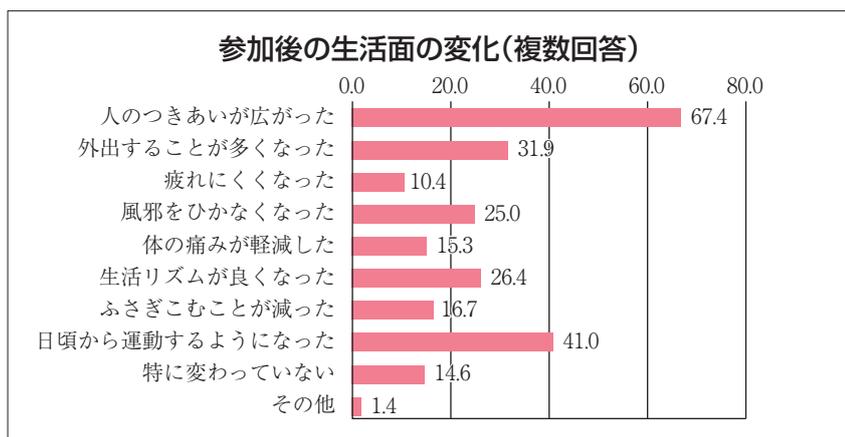
〈地域の茶の間〉

おしゃべりや小物づくりなど、参加者とスタッフでやりたいことを一緒に決めていきます。スタッフは見守り役として支援しています。

〈ふれあい塾〉

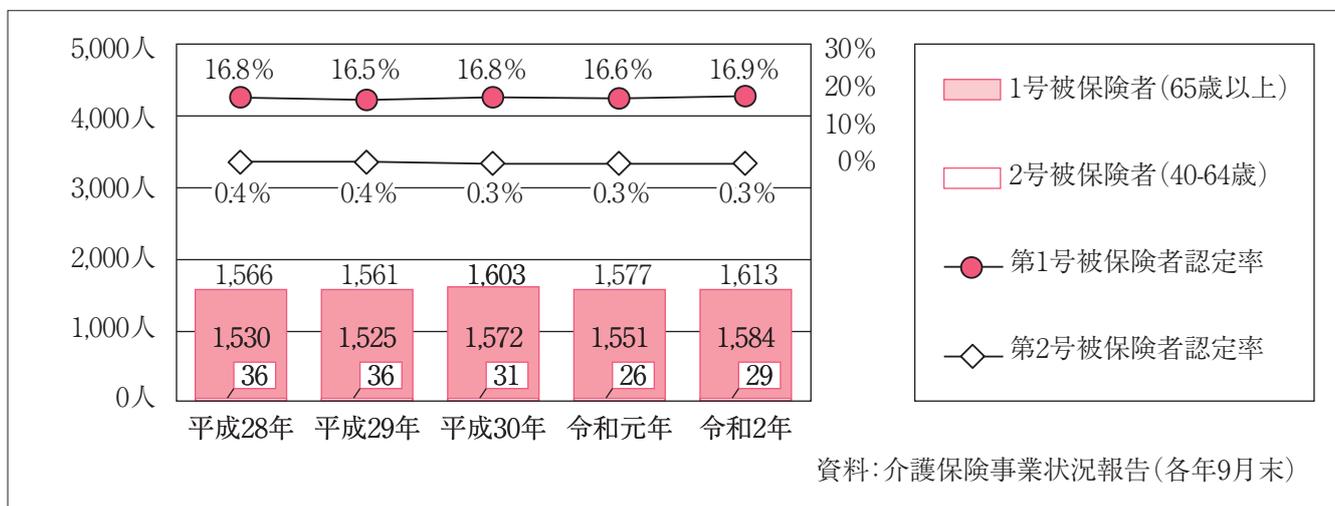
スタッフは参加者の年齢層に合わせた、笑いあふれる楽しいプログラムを考え、提供しています。また、各地区の「いきいきサロン」の指導者としても活動しています。

グラフ1 11か所144人が回答した意識調査（平成28年）



(写真2) コロナに負けず15か所目が開所

グラフ2 要支援・要介護認定数の推移



資料:介護保険事業状況報告(各年9月末)

市内各地区への広がり

向田地区をモデルに、地元公民館などを活用した体操などで体を動かす「ふれあい塾」を中心とした「ふれあいの里」が市内各地区へ広がっています。

令和2年9月には、目標としていた15か所目(写真2)が開所となりました。担い手として協力いただいているスタッフは総勢250人、利用者は年間延べ約1万2000人に上ります。(令和元年度)

継続は力なり

地域活動は継続することが一番難しいと言われる中、各ふれあいの里では多くの人が変わらず参加しています。改めて、支える「地域の力」を感じます。また、市も活動が継続できるようサポートを続けています。

■「ふれあいの里連絡協議会」の設立

平成26年、5か所目のふれあいの里の開所を機に発足した「ふれあいの里連絡協議会」では、年2回研修会を開催し、情報の共有や課題の検討、スタッフのスキルアップなどを行っています。(写真3)

■専門職から健康情報を提供

ふれあいの里では、新規開所後3か月間は保健師などがサポート

します。その後は、サポートの回数を減らし、自主運営を促していきますが、出前講座や体力測定などを行ったり、スタッフ研修を兼ね毎年、健康運動指導士を派遣したりしています。今後は管理栄養士や歯科衛生士の派遣も予定しています。

■活動の見える化

事業の効果測定として、平成28年には体力測定に加え、意識調査(グラフ1)を実施しました。向田地区の結果が内閣府の「小さな拠点・地域運営組織の形成による効果」の介護予防に役立つ効果として掲載され、週1回開催することの意義が明確になったことで、スタッフも利用者の士気も高まりました。また、より多くの人に知ってもらうために、生活支援コーディネーターとの連携で「居場所マップ」(図2)を作成しました。

「居場所づくり」から「支え合いの地域づくり」へ

ふれあいの里事業により、介護予防の効果は着実に表れてきています。高齢化率が上昇する中、介護認定者数および介護認定率は第6期・第7期介護保険事業計画において推計値を下回る実績となっています。また、認知症高齢者数

図2 居場所マップ

だれでも気軽に立ち寄れる ふれあいの里マップ

2021.4月現在
※居場所マップ改変

ふれあいの里開催地区

地区名	開催場所	開催日時
1	仲町 仲町公民館	毎週水曜日 13:30~15:00
2	日野町 日野町自治会館	毎週火・木曜日 13:30~15:00
3	屋敷 健康管理センター	毎週金曜日 10:00~11:30
4	向田 旧向田小学校	毎週火・金曜日 9:30~14:00
5	上境中 上境中組公民館	毎週金曜日 10:00~11:30
6	横枕 横枕文化伝承センター	毎週水曜日 13:30~15:00
7	大木須 大木須集会所	毎週火曜日 9:30~11:00
8	興野 興野集会所	毎週水曜日 9:30~11:00
9	大桶・白久 大桶上コミュニティセンター	毎週月曜日 9:30~11:00
10	熊田東 熊田東公民館	毎週水曜日 9:30~11:00
11	月次 月次コミュニティセンター	毎週水曜日 9:30~11:00
12	大金台 大金台公民館	毎週水曜日 10:00~11:30
13	南大和久 南大和久公民館	毎週水曜日 13:30~15:00
14	上川井 上川井公民館	毎週火曜日 9:30~11:00
15	下川井上 和楽館	毎週水曜日 9:30~11:00



(写真3) ふれあいの里連絡協議会スタッフ研修会

も10%未満で推移しています。その他、各ふれあいの里では介護予防のほか、障がい者福祉事業所や地元商店の出張販売、見守り活動、世代間交流、災害時の炊き出しなど、ふれあいの里を拠点とした連携が進められています。

現在、市は地域包括ケアから地域共生社会の実現に向け、社会福祉協議会とともに自治会を核とした「支え合いの地域づくり」(図3)の体制整備を進めています。が、「ふれあいの里」はその一角を担う、重要な拠点となっています。

ここ1、2年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一時休止の時期がありました。が、感染症対策を徹底しての運営や参加できない人への個別の声掛けなどが各地区で行われ、改めて支え合いの本意を感じています。

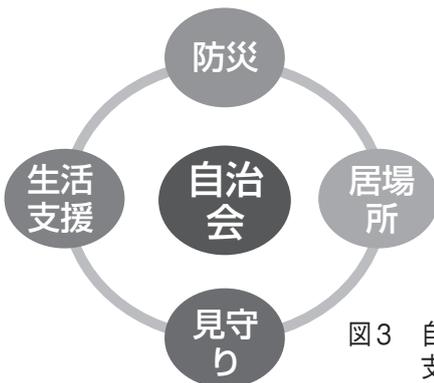


図3 自治会を核とした支え合いの地域づくり

ちづくりとして、市はこれからも15か所の「ふれあいの里」、そして新たな「ふれあいの里」の誕生を応援していきます。皆さんも、ぜひ、ご近所のふれあいの里へ足を運んでみてください。

◇

次のページからは、11月で設立から10周年を迎えた「向田ふれあいの里」について紹介します。

実際に行われている体操や食事の活動の様子に加え、利用者・スタッフの皆さんへのインタビュー内容を詳しくお伝えします。

向田ふれあいの里はこんなところ！ 10周年を迎えた日に行ってみました！

① みんなで体を動かそう

【体操】

みんなで1、2、3...と声を合わせて一定のリズムで手をたたいたり、特定の数字のときだけ手をたたかなかったりなど、体を動かしながら頭も使います。また、歌に合わせて体操も行います。

【ボールをキック】

いすに座った状態でボールを蹴って、他の参加者にパスをします。この日はボールを3つ使いました。

【合唱】

この時期にピッタリの童謡「もみじ」をみんなで歌いました。また、輪唱も行い、他の人につられないように歌いました。とてもきれいなハーモニーでした。



▲力強くボールを蹴る参加者

② みんなで食べよう

食堂に集まり、地域の人が作った栄養バランスのとれた食事をみんなで食べます。現在は、コロナ禍のため一方向を向いて座っていますが、利用者の皆さんは、「おいしい！」と笑顔で食べていました。※11月から再開したレストランは、対象者を地元の高齢者に限定して仮運営中です。



▲食事の様子

▼11月19日の献立



運動面では運動機能や認知機能の向上に、食事面では低栄養の改善につながります。また、高齢者が自宅以外で活動することで、閉じこもりの防止や孤独感の緩和にもつながります。何よりも、「みんなと楽しく参加する」ことが大切です。

Interview

＼お年寄りの笑顔が活力に！／

設立当初からのスタッフ



【ふれあい塾担当】
平野久子さん(向田)

【ふれあいレストラン担当】
石川陽子さん(向田)

地元で気心の知れたお年寄りが一緒に体操や食事を楽しみ、笑顔で帰ってくることが何よりうれしいです。お年寄りの笑顔が見られるので、苦勞と感じることはありませんでした。経験豊富なお年寄りが知恵を貸してくれるので、その代わりに体力で恩返しできればと思っています。後継者不足を解消して、この活動を長く続けていきたいです。

この10年は、夢中で活動に取り組んできました。献立は、お年寄りが不足しがちな栄養を補えるように工夫しています。お年寄りが残さず食べて、「おいしかった！」と言ってもらえることがとてもうれしいです。自分自身も仲間と顔を合わせられることで、いきいきと活動できています。これからも、できる限り頑張っていきたいです。

＼みんなに会えるのが楽しみ！／

昭和5年生まれと同級生



平野フミ子さん(向田)

大鐘幸子さん(落合)

体操では、楽しく体を動かすことができます。毎週やっている「きよしのズンドコ節」は、振り付けを一生懸命覚えたので、1番好きな体操です。スタッフの皆さんがいてくれるおかげで続けられていると思います。体が動かせるうちは、通い続けたいです。

今でも1分間片足立ちすることができます！元気に長生きできているのは、ふれあいの里のおかげだと思います。スタッフの皆さんはいつも優しく、笑顔で迎えてくれるので、とても感謝しています。これからも通えるように、健康を維持していきたいです。

市長選無投票再選果たす

川俣市長2期目スタート

任期満了に伴う那須烏山市長選挙で、川俣純子市長（61歳・旭2丁目）が無投票再選を果たし、川俣市政2期目がスタートしました。

10月25日(月)には、当選証書付与式が市役所烏山庁舎で行われ、佐竹信哉選挙管理委員会委員長から川俣市長に当選証書が手渡されました。

11月8日(月)の初登庁では、職員や市議、支援者などおよそ100人が拍手で出迎えました。花束を受け取った川俣市長は、「この市を良くするために、皆さんの協力が必要です」と出迎えた人呼びかけ、その後の訓示では、「新庁舎建設の道筋を作りたい」と話しました。



職員から花束を受け取る川俣市長

公約と実現に向けた取り組み

●3つの公約

- ・市民に寄り添い「**市民協働のまちづくり**」を推進します。
- ・厳しい状況の中「**持続可能な財政運営**」を行います。
- ・国・県と協力し「**八溝地域と我が市の良さ**」を引き出します。

●公約実現に向けた

5つの具体的な取り組み

- 1. 未来につなぐ健やかな暮らしを支える**
子育て世帯の応援のため第3子の幼稚園・保育園の副食費を無償化するなど
- 2. 未来につなぐ学びを育む**
自ら考え行動できる人材育成・郷土愛の醸成・コミュニティスクールの推進など
- 3. 未来につなぐ賑わいを創出する**
市民の誇れる賑わい創出拠点づくり・女性ならではの視点を活かしたまちづくりの推進など
- 4. 未来につなぐ安全・安心な暮らしを守る**
那珂川緊急治水プロジェクト・防災無線等緊急情報伝達システムの推進など
- 5. 未来につなぐ持続可能な財政状況を築く**
本庁方式の早期実現・老朽化した公共施設の再編・集約化など

市民の暮らしを守り、未来につなぐ

那須烏山市長 川俣純子

10月17日(月)に告示されました市長選挙におきまして、無投票という結果ではございましたが、市民の皆様からのご信任を賜り、2期目の市政運営を担うことになりました。少子高齢化に伴う人口減少や厳しい財政状況、新型コロナウイルス感染症対策、そして国土強靱化に向けた取り組みなど、非常に多くの課題がある中、市政を担う責任の重さと大きさに身が引き締まる思いでございます。

2つ目は、「厳しい財政状況の中『持続可能な財政運営』を行う」です。これまで財源の確保と歳出の抑制、そして行財政改革の推進による財政健全化の徹底に努めてまいりました。2期目は実行の期間として、持続可能な財政運営を徹底しつつ、積極的な事業展開を進めてまいります。

様々な難局を乗り越え、大切な市民の安全・安心な暮らしを守り抜くこと、そして、未来に確実につないで行くことが、市長である私の果たすべき使命であると考えています。そのために、次の3つの公約を掲げさせていただきます。

3つ目は、「国・県と協力し『八溝地域と我が市の良さ』を引き出す」です。国・県との連携を一層強化し、協力を頂きながら八溝地域の魅力を更に引き出し、広域的な自治体間連携による地域経済の発展と地域課題の解決を両立できる市政運営につなげてまいります。

1つ目は、「市民に寄り添い、市民協働のまちづくり」を推進」です。行政主導による画一的な対応では、きめ細かな公共サービスを担うことは困難となっております。今後は、多様な価値観を持つ市民と行政が、共に考え協力し合う「協働のまちづくり」が必要不可欠だと考えております。

今後、公約実現に向け、5つの具体的な取り組みを行い、これまでに以上に市民の声に真摯に耳を傾けながら、丁寧な市政運営に努めてまいりますと考えております。私の愛する那須烏山市のために、『覚悟』と『責任』と『対話』による市民のための市民参加の市政運営」を実現し、未来につなぐ責任を、力の限り全力で果たす所存です。

市政功労伝達式

市では、市政発展や福祉増進に寄与された顕著な功労を讃え、様々な分野で活動する人や団体を表彰する「市政功労伝達式」を11月14日(日)に烏山公民館で開催しました。

式典では、特別功労表彰、市政功労表彰、善行表彰、まちづくり貢献賞、および4世代以上同居家族表彰の受賞者に川俣純子市長が表彰状を授与したほか、地域福祉活動に対する感謝

状も贈呈されました。その後は、受賞者を代表し、小川清さんが謝辞を述べました。

受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略、()内は功績)

■特別功労表彰

皆川孝行(多年にわたる烏山商工会理事

および那須烏山商工会理事活動)、小川清

(多年にわたる烏山商工会理事および那須烏山商工会理事活動)、赤羽美枝子(多年にわたるスポーツ推進委員活動)、檜山勉(多年にわたるスポーツ推進委員活動)、櫻井恵子(多年にわたる社会教育委員および公民館運営審議会委員活動)、岡林昌彦(多年にわたる学校歯科医師活動)、杉山昭子(多年にわたる図書館協議会委員活動)

■市政功労表彰

岩附淳一(固定資産評価審査委員会委員、鈴木敏造(保護司および南那須保護

区保護司会監事)、久郷義美(農業委員会委員)、越雲宏(農業委員会委員)、興野礼子(農業委員会委員)、塩野目れい子(栃木県消費生活リテラシー連絡協議会那須烏山支部役員)、堀江竜也(那須烏山商工会理事)、滝田富男(那須烏山商工会理事)、糸井政俊(那須烏山商工会理事)、鈴木幸二(那須烏山商工会理事)、澤村豊純(教育委員会委員)、大橋光一(スポーツ協会役員)

■善行表彰

クミアイ化学工業㈱(企業版ふるさと応援寄附金350万円を寄附)、㈱二チノ一緑化(企業版ふるさと応援寄附金100万円を寄附)、日産緑化㈱(企業版ふるさと応援寄附金100万円を寄附)、レインボー薬品㈱(企業版ふるさと応援寄附金100万円を寄附)、町田正・町田ミヤ(ふるさと応援寄附金100万円を寄附)

■まちづくり貢献賞

興野正夫(地域の交通安全および事故防止活動)、小森茂(地域の交通安全および事故防止活動)、相田日出男(地域の交通安全および事故防止活動)、大野正夫(地域の交通安全および事故防止活動)、富田義雄(地域の交通安全および事故防止活動)、平野一郎(地域の交通安全および事故防止活動)、平野宏巳(地域の交通安全および事故防止活動)、柳田哲夫(地域の交通安全および事故防止活動)、青木久松(興野下二いきいきクラブ副会長および会長)、池田枝美子(食生活改善推進員協議会役員)、島崎紀江(婦人会役員)、葛西千代子(婦人会役員)、松浦ミチ(婦人会役員)

■まちづくり貢献賞(4世代同居家族表彰)

久郷利夫(家族)

■地域福祉活動に対する感謝状

横山美智子(烏山地区配食サービス活動)、高野由美子(南那須地区配食サービス活動)



小川さんによる
受賞者代表謝辞



表彰状を受け取る皆川さん

とちぎ国体とちぎ大会応援ポスターコンクール 矢板さん、佐藤さんが最優秀賞

11月14日(日)、「いちご一会」とちぎ国体・とちぎ大会応援ポスターコンクールの表彰式が烏山公民館で開かれました。

このコンクールは、来年10月に開催される「いちご一会」とちぎ国体・とちぎ大会を広く周知することを目的に、今年で8回目となった那須烏山市災害ボランティアチーム龍JIN(小堀恵美子代表)主催の「烏山線アキム絵画コンテスト」との共催で行われたものです。



左から、佐藤さん、矢板さん、小濱さん、樋山さん

市内小・中学校の児童・生徒から537点の応募があり、28人の作品が入選しました。小学生の部では、最優秀賞に烏山小3年矢板美玖さん、市長賞に同小4年の小濱ゆうなさん、教育賞に同小4年の樋山桜愛さんは、最優秀賞に烏山中3年の佐藤陽華さんの作品が選ばれました。表彰式では、川俣純子市長や田代和義教育長が受賞者一人ひとりに表彰状を贈呈しました。

矢板さんは、「虹にアーチェリーの的を描いて、その中に文字を入れる工夫をした。選手の皆さんに龍門の滝に来てもらって、滝の上を通るアキムを見てほしい」、佐藤さんは「みんなで作る国体をイメージし、選手と観客を一緒に描いた。ポスター制作をとおして、国体が楽しみになった」と話し、2人も受賞を喜んでいました。

小学生の部の入賞作品と佳作72点は、12月から来年1月にかけてJR烏山線アキム車内に展示されます。

10月31日執行 衆議院議員総選挙 投開票結果

衆議院が10月14日(木)に解散し、これに伴う総選挙が10月19日(火)公示・10月31日(日)投開票により執行されました。

本市の投票率は、小選挙区、比例代表ともに52.28%でした。投票率は前回(小選挙区:58.05%)には及びませんでした。期日前投票率(小選挙区)は24.65%(県内25市町の中では2位、14市の中では1位)で、全投票者数のうち、期日前投票を利用した投票者数は半数以上を占め、期日前投票制度が広く浸透していることが伺えます。

今回の選挙においても、常設の期日前投票所(市役所烏山庁舎および南那須庁舎)に加え、小木須地区・大木須地区・下境地区・志鳥地区・烏山高校で臨時の期日前投票所を開設しました。烏山高校では、14人の高校生が投票し、NHKなど主要メディアが取材に訪れていました。

また、初めての試みとして、デマンド交通を活用した常設の期日前投票所への移動支援を行いました。この取り組みは、デマンド交通を利用して期日前投票所に来場し、投票した人が実質無料でデマンド交通を利用できるもので、今回は14人の利用がありました。さらに、若年層への選挙啓発の一環として、インターネットサイトやスマートフォンアプリへのバナー広告配信も新たに行いました。インターネットを利用したときにバナー広告を見た人も多いのではないのでしょうか。

選挙管理委員会では、今後も投票率向上を目指し、有権者の動向・時代のニーズに合わせながら、有権者の皆さんが投票しやすい投票環境づくりに努めるとともに、啓発や主権者教育など工夫を凝らしながら選挙への関心を高めるための取り組みを進め、選挙の公正確保との調和を図っていきます。

開票結果

◆衆議院小選挙区選出議員選挙(※届出順)

候補者氏名	いが 央	やな 和生
得票数	4,009票	7,178票

◆衆議院比例代表選出議員選挙(※届出順)

政党等の名	自由民主党	日本共産党
得票数	4,357票	489票
政党等の名	立憲民主党	公明党
得票数	2,796,643票	1,675票
政党等の名	日本維新の会	れいわ新選組
得票数	756票	336票
政党等の名	社会民主党	国民民主党
得票数	170票	303,356票
政党等の名	NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で	
得票数	97票	

期日前投票立会に関するアンケートを実施

今回の選挙では、若い世代の皆さんに政治や選挙に関心を持ってもらい、選挙を身近なものに感じてもらえるようにするとともに、投票する人が気軽に投票できる投票所づくりを目指すため、18歳から39歳の期日前投票立会人を募集しました。

また、若年層への選挙啓発の一環として、その人たちを対象に「期日前投票立会に関するアンケート」を行い、初めて立ち会いをした人や経験者など様々な人から貴重な意見をいただくことができました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

※意見は一部抜粋したものです。

Q1 今回応募した理由は。

- A1
- ・投票がどのように執行されているか知ることができる貴重な機会だと思ったから。
 - ・友人に誘われた。
 - ・報酬がでるから。
 - ・市ホームページや広報紙を見たから。

Q2 選挙の際に投票に行くか。

A2 ◆毎回行く

- ・自分が望む社会になってほしいから。
- ・選挙権を持つ一人として、積極的に投票したい。

◆たまに行く

- ・タイミングが合わず行けないときもある。投票所が遠い。
- ・忘れてしまう。

Q3 立会をしてどのように感じたか。

A3

- ・期日前投票を利用する人が想像よりも多く、投票率が低下している中で関心のある人とならない人には大きな意識の差があると感じた。
- ・目など、身体に不自由がある人で、文字を書くことのできない人に関しては、代理投票ができることを知った。
- ・年配の人でも数年おきの選挙は、投票の流れを忘れて、戸惑っているのが多々見られた。

秋の叙勲

小堀さんが瑞宝単光章

今年の秋の叙勲で、小堀重光さん(中央2丁目)が消防功労で瑞宝単光章を受章しました。

昭和47年に旧烏山町消防団に入



団した小堀さんは、平成20年から市消防団長に就任。退任するまで38年にわたり、地域住民の生命や財産を守るため活躍しました。

火災現場では、消火作業にとどまらず、周辺への延焼防止にも努めてきた小堀さん。団長就任後には、様々な現場での経験を活かし、若手団員の育成指導にも熱心に取り組みました。また、経験豊富な消防団OBで組織する支援団員制

度に加え、当時県内でも珍しかった女性消防団員制度を新設するなど、現在も続く市消防団組織の確立に大きく貢献しました。

小堀さんは、「出動の際に感謝の言葉をもらえたことが消防団活動をしていて良かったと思う瞬間だった。今回の受章に加えて、長い間消防団活動を続けてこられたのは、家族や周りの人の支えが大きい。今後は、地域でのボランティア活動に力を入れたい」と話し、受章を喜んでいました。

JANAす南が 「にっこり梨」の出来を報告

11月8日(月)、JANAす南の中山正樹代表理事組合長と梨部会の久郷利夫部会長が市役所烏山庁舎を訪れ、川俣純子市長に今年の「にっこり」梨の出来を報告しました。「にっこり」は、大きくて甘みが強く、食感が良いことが特徴で、貯蔵性にも優れることから、海外にも輸出されています。

久郷部会長は、「今年の梨は、特に甘みが強く、自信を持って出荷できるものができた。海外への輸出をとおして、『にっこり』をさらに広めたい」と話していました。



報告に訪れた中山組合長(右)と久郷部会長(中央)

新聞に親しみ学び深める

小・中学校でNIE教育始まる

市内の小・中学校では、全学年の生徒を対象に新聞を活用したNIE(エヌ・アイ・イー)教育を推進しています。

NIE(Newspaper in Education)とは、「教育に新聞を」という意味で、新聞を学校や家庭での学習に活用することで、子どもたちの社会への関心を高め、自分事として考えを深めることを目的にしています。授業では、児童・生徒全員に1部ずつ新聞が配られ、実際に新聞に触れながら学習を進めていきます。

10月20日(日)には、江川小学校で1年、3年、5年生を対象に授業が行われました。1年生では、新聞の4コマ漫画の会話から、かぎ「」を使った文を書く授業、3年生では、新聞に書かれた漢字から「へん」と「つくり」を探す授業、5年生では、実際に新聞の紙面を読み新聞の構成を理解する授業が行われました。

この日は、NIEコーディネーターである下野新聞社の高橋正彦さんも授業を見学し、子どもたちとの会話を交えながら、学習の様



3年生の授業の様子

子を見学していました。

5年生の吉羽純萌さん(藤田)は、「新聞に目次やリード文があることを初めて知った。楽しかったのもっと新聞を読みたい」と笑顔で話していました。

市国際交流協会

外国人と市民らがみかん狩り楽しむ

市国際交流協会(東原民範会長)では、11月21日(日)、小木須の「国見山みかん園」で日本文化体験研修会を開催し、イギリス、アメリカ、ベトナム、タイなどの在住外国人と市民など約40人が、青空のもとでみかん狩りを楽しみました。

夫妻で参加したエバンズ・イエスティンさんは、「景色が良く、みかんもおいしかった。皆さんとみかん狩りができて楽しかった」と里山の秋を満喫していました。



みかん狩りを楽しむ参加者

バイク展示やミニツーリングも

全国からメグロバイク愛好者集う

11月7日(日)、山あげ会館前で「メグロキヤノンボール烏山」が開かれ、約60台のメグロバイクが集結したほか、全国からバイク愛好者ら300人あまりが会場に詰めかけました。

メグロバイクは、オートバイメーカーの目黒製作所で製造されていたもので、かつて本市に同製作所の生産工場がありました。この催しは、メグロバイクの故郷ともいえる本市をメグロバイクで走行することを目的に、山田佳之さん(金井1丁目)を発起人に、市観光

協会やクラシックバイクの催しを行うパイオニアランジャパン(齋藤康夫代表)が中心となり開きました。

会場では、レース出走したものの貴重なメグロバイクも複数展示されたほか、地元ジャズバンドによる演奏も行われ、訪れた人を楽しませました。また、メグロバイクで山あげ会館を発着点に市内十数キロを走行するミニツーリングも行われ、晴天の下、参加者たちは愛車とともにさわやかな風を切つて、楽しんでいました。

齋藤代表は、「メグロが現在で



ミニツーリングに出発する参加者ら

も根強い人気があり、全国に愛好者がいることが分かった。今後、イベントを開催し、メグロと那須烏山市のつながりを深めたい」と話していました。

小学生がニュージーランドの中学生と

オンラインで交流深める

市内5つの小学校では、英語教育の一環として5、6年生を対象にニュージーランドの中学生とのオンライン交流を行っています。

境小学校では、11月15日(月)に6年生11人が同国北東部に位置するギズボーン市のリトンハイスクールの生徒と交流。ニュージーランドの生徒は、外国語の選択科目として日本語を学んでいます。

モニター越しに向き合った子どもたちは、前半は英語で、後半は日本語でやりとり。「誕生日はいつか」「どこに旅行に行きたいか」など質問し合い、終始和やかな雰囲気交流を深めていました。



交流の様子

青木優那さん(横枕)は、「緊張したが、交流できて親近感がわいた。学んだ英語を活かせる機会があった良かった」と話していました。

小学生が市職員から税の大切さ学ぶ

11月16日(日)、七合小学校で「租税教室」が開かれ、6年生の児童31人が税の目的や役割について学びました。

これは、市や氏家税務署が児童・生徒を対象に、国や地方公共団体の財政を支える税の意義や役割を認識してもらい、税の大切さを知ってもらうと開いているもの。

当日は、市税務課職員が税金の種類や使い道などクイズを交えながら税について授業し、税金がある世界とない世界をテーマとしたDVDも鑑賞したほか、児童が1億円分の札東の見本を持つ体験も行われました。

高野晃希さん(大桶)は、「水道や橋にも税金が使われていることを初めて知った。税金は大切だと思った」と話していました。



税について学ぶ児童たち

ボランティアで野球教室

小磯通伸さん(野上)は、友人らとともに、毎週日曜日に烏山運動公園で子どもたちにボランティアで野球を教えています。

子どもに野球を好きになってほしいという思いから、去年の春に始めたこの活動。現在は、就学前の子どもや小学1、2年生が参加し、キャッチボールやノック、試合形式など、幼い子どもでも楽しめるよう練習メニューを工夫しています。

小磯さんは、「楽しそうに野球をする子どもたちの姿が励みになる。子どもたちがこれからも野球を続けて、強いチームとなってくれることが一番の目標です」と笑顔で話していました。



子どもたちに野球を教える小磯さん(左)

市では、資源循環型社会の構築を目指し、廃棄物の「発生抑制・分別徹底による3Rの推進」に取り組んでいます。

7回目は布類の出し方について解説します。

【布類の出し方】

洗濯したきれいな状態のものを、折りたたんでひもで十文字に縛って出してください。

衣類に付いているボタンやファスナーなどは、付いたままで問題ありません。



【布類として回収可能なものの例】

- ・洋服 ・シャツ ・ジャージ ・ズボン ・ジーンズ ・セーター ・タオル ・ワイシャツ
- ・ダウンジャケット ・着物 ・浴衣 ・スキーウェア ・シーツ

【布類として回収できないものの例】

粗大ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・布団 ・羽毛布団 ・こたつ布団 ・寝巻き (中綿のあるもの)
50cm以下に切れば 燃やすごみ <small>※50cm以下に切れない場合は、粗大ごみとして出してください。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・カーテン ・クッション ・カーペット ・はんでん (綿入り) ・寝袋 ・毛布 ・寝巻き ・着物の帯 ・座布団 ・足ふきマット (布製) ・ぬいぐるみ
燃やすごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・枕 ・下着 ・帽子 ・手袋 ・靴下 ・ストッキング ・雨ガッパ ・布団カバー ・のれん ・ネクタイ ・綿 ・ぞうきん

【注意事項】

- ・汚れが付いているものや、破れてしまっているものについては、燃やすごみで出してください。
- ・ごみとして出す前にポケットの中身を確認し、異物が混入していないか確認してください。
- ・名前が書いてあるなど、個人情報が付いている場合は、その部分を切り取ってから出してください。

那須烏山市ごみ分別アプリでも、ごみの分別方法を確認できますので、ご活用ください。



《Android版》



《iPhone版》

親子で化石スポット巡り

市内の地層や産出化石学が

市では、11月20日(土)、23日(火)に、ジオパーク構想事業「親子化石研究講座」を開催しました。新型コロナウィルス感染症の影響で日程を延期しての開催となりましたが、10組の親子が参加しました。

20日(土)には、市内の化石産出スポットをバスで巡り、各地で貝や植物の化石を採集しました。その場にあった石や発掘用のハンマーを使って石を削ったり割ったりし

て、化石の発掘を体験しました。参加者の中には親同士、子ども同士で活動する場面も見られ、交流を深めている様子でした。

また、23日(火)は、市職員からジオパークに関する講話を聞いたあと、20日(土)に集めた化石のクリーニングを行いました。化石を削って取り出し、ルーペや顕微鏡を使って観察しながら、それらの名称を調べる活動も行いました。



川で化石を探す参加者ら

さくら市との共同調査で

東山道跡を発掘

本市との市境であるさくら市狭間田で東山道駅路の一部とみられる道路跡が、10月21日(木)までに本市とさくら市の共同調査で見つけられました。

東山道跡は、奈良時代から平安時代にかけて使われていた道路で、国家の号令のもとに整備された、都と地方を結ぶ7つの幹線道路の1つです。本市では、同時期の役所跡である長者ヶ平官衙遺跡に隣接した部分を全国的に見ても重要なため「長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡」として、平成21年2月に国



発掘現場の様子

史跡の指定を受けています。

今回発掘された道跡は、両側に側溝を持った幅12mの道が作られた初期から、幅6mに道幅が変わった時期のものなどが発見されました。断面では硬い土の層が幾重にも重なり、路面を補修しながら使用し、次第に使用されなくなつた様子が確認できました。この様に良好な状態で発見されたのは、周辺では約30年ぶりとのこと。

発掘地点は、劣化を避け、今後の活用に向けた保存のために埋め戻されましたが、今回の調査結果は、これまでの東山道跡の事実を新たにするものとなりました。

那須烏山ジオパーク構想だより

〜見どころ紹介〜

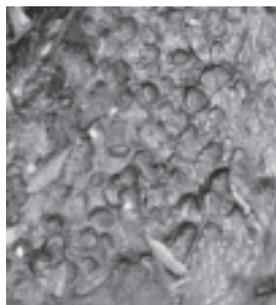
十二口横穴墓群 (南大和久地区)

南大和久地区の荒川の斜面には、小支流を挟んで12基以上の横穴墓が南西方向に並んでいます。これらは「十二口横穴墓群」と呼ばれ、市の史跡に指定されています。

お墓が作られました。横穴墓が作られたこの地層は、「荒川層群」という那須烏山が海だった時代にできた地層で、やわらかく崩れにくい、という特徴から横穴を掘るのに適していました。

このように、ヒトの暮らしや文化には、その土地の特徴を活かして作られたものが多くあります。ジオパークは自然や環境だけでなく、歴史・文化とも密接な関係を持っているのです。

小支流が形成する沢には、貝化石密集層が約200mにわたって見られ、絶好の観察ポイントとなっています。ジオパーク構想事業でも、学校の校外学習や観察会で活用されているスポットです。



▲貝化石が密集している様子

那須烏山地域と横穴墓

那須烏山市内には、この十二口以外にも横穴墓が存在しています。那須烏山地域のやわらかい地層を活用して、古墳時代に



中山横穴墓群→ (中山地内)



←小志鳥横穴墓群 (志鳥地内)

おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 山村心 (菜(太一・直子)上 境
 田澤優 (翔(翔悟・みく)中 山
 菱沼 (青(厚樹・麻那美)旭2丁目
 森嶋健 (太(正幸・恭子)小 倉
 大石 (楓(祐嗣・歩美)旭2丁目
 皆川 (いと(大輔・すみれ)旭1丁目
 ※ここでは、保護者などの了解が得られた情報のみを掲載しています。

受賞

●第71回栃木県児童生徒発明工夫展
 覧会
 ▽銅賞…ペットボトルひえひえマシン
 ン・西原昂輝・満田航輔(鳥山小6年)
 ●令和3年度子ども人権絵画コン
 テスト栃木県大会
 ▽優秀賞…やさしい心…橋本奈々(荒川
 小4年)

寄付

■ふるさと応援寄付金
 中山成一様(栃木県宇都宮市)から16万
 円、中島孝幸様(埼玉県さいたま市)から
 13万円、小口秀一様(栃木県宇都宮市)か
 ら3万5千円、渡邊恭山様(千葉県市川
 市)から3万円、町田伸夫様(栃木県小
 山市)から1万5千円、浅沼達朗様(東京
 都杉並区)から1万円、松本邦夫様(栃木

県小山市)、柏恵美子様(茨城県潮来市)か
 ら各5千円、匿名希望者様58人から合
 計93万円が本市に寄付されました。

■企業版ふるさと応援寄付金
 リンレイテーク(株)様(東京都中央区)か
 ら150万円が寄付されました。

スポーツの結果

●第44回市民ソフトボール選手権大会
 (10月20日(水)、21日(木)、27日(水)、28日(木)鳥山運動公
 園)
 ▽優勝…下境・小原沢ソフトボールク
 ラブ▽準優勝…城東クラブ
 ●第16回那須烏山市秋季市民ソフトテ
 ニス大会(10月31日(日)緑地運動公園)
 [一般]
 ▽優勝…黒須則夫・青山裕一▽準優
 勝…川面淳也・高根沢宗▽第3位…永
 島千豊・小森大輔

[シニア]
 ▽優勝…澤村絹代・塚原文江▽準優
 勝…大野孝夫・小堀幸男▽第3位…田
 中毅・永島香
 [ランドシニア]
 ▽優勝…坂主慶子・平野元▽準優勝…
 青木とみ子・今井保二▽第3位…矢口
 文字・古内晴代

●第13回那須烏山支部秋季野球大会
 (10月24日(日)緑地運動公園、31日(日)鳥山野球場)
 ▽優勝…鳥山信用金庫▽準優勝…藤
 田クラブ▽第3位…鳥山ヤンガース、
 熱球会

第15回市民剣道祭

(11月6日(日)荒川小学
 校体育館)
 [小学4年生以下の部] ▽優勝…川上
 昂(宏倫剣道)▽準優勝…河和歩武(宏倫
 剣道)▽第3位…葛西小春(宏倫剣道)
 [小学5・6年生の部] ▽優勝…土居
 明夫(宏倫剣道)▽準優勝…笠井雄斗(鳥
 山剣道)▽第3位…二見心亜(宏倫剣道)
 [中学生男子初心者の部] ▽優勝…谷
 田風生(南那須中)▽準優勝…佐藤司渚
 (南那須中)▽第3位…大木琉慎(鳥山中)、
 樋山瑠来(鳥山中)

[中学生女子初心者の部] ▽優勝…遠
 山侑流(南那須中)▽準優勝…伊藤優純
 (南那須中)▽第3位…山寺紗耶(南那須中)
 [中学生の部] ▽優勝…渡邊隼(南那須中)
 ▽準優勝…高野大翔(鳥山中)▽第3
 位…小森咲芽(鳥山中)、野村励音(鳥山中)

[一般の部] ▽優勝…渡邊兼一(曲畑)
 ▽準優勝…滝口恭弘(志鳥)



七合小の児童

編集後記

今月は、高齢者ふれあいの里を特集しました。今回初めて「向田ふれあいの里」にお邪魔したのですが、参加していたお年寄りの皆さんはとにかく元気いっぱい！とても楽しそうに活動していました。

印象的だったのは、体操などの動きを間違えてしまっても自分で明るく笑い飛ばしていたこと。そして、他の参加者にも自然に笑顔の輪が広がっていたことです。動きを正しく行うことではなく、「みんなと一緒に楽しくやること」「みんなと同じ時間を過ごすこと」がとても大切なことなんだと改めて実感しました。「向田ふれあいの里」の利用者の皆さん、スタッフの皆さんとお話することができて、私もいっぱい元気をもらいました。

さて、12月に入り、すっかり寒くなりましたね。私は毎朝お布団と離れたくない気持ちと戦っています。それに、今年がもうすぐ終わってしまふことに驚いています。月日が過ぎるのは早いですね。(これって毎月の原稿締め切りに追われているから)。それはさておき、今年も取材で色々なスポーツやイベントに行かせていただきました。取材などでお世話になった皆さん、ありがとうございました。

それでは、よいお年を!!

Information



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<https://lib-nasukarasuyama.jp/>

★一般図書★

- 『100万回死んだねこ』 福井県立図書館
 『自分を縛る“禁止令”を解く方法』 大鶴 和江
 『超ワイド! 2000年絵巻』 朝日新聞出版
 『スーツは経費で落ちますか?』 高橋 浩之
 『倉持仁の「コロナ戦記」』 倉持 仁
 『その農地、私が買います』 高橋 久美子
 『ぼくらはアン』 伊兼 源太郎
 『宿命(リベンジ)』 石原 慎太郎
- ★児童図書★
- 『生きるって、なに?死ぬって、なに?』 今泉 忠明ほか
 『ニッポンびっくり事典』 こざき ゆう

- 『病院のウラガワ』 佐藤 昭裕
 『レッツキャンプ』 いとう みく
 『飛べ! 遺伝子を超えて』 森川 成美
 『ほしじいたけほしはあたけ』 石川 基子
 『エゾシマリス』 佐藤 圭
 『たいそうするよ』 高島 純
- ★DVD★
- 『氷菓』 安里 麻里監督
 『奥様は、取り扱い注意 劇場版』 佐藤 東弥監督
 『決算! 忠臣蔵』 中村 義洋監督
 『チア男子!!』 風間 大樹監督
 『名もなき世界のエンドロール』 佐藤 祐一監督
 『7番房の奇跡』 イ・ファンギョン監督
 『ラーヤと龍の王国』 ドン・ホール監督ほか

2021.11.1現在
 ()対前月比

人口 24,349(-43)

男 12,117 女 12,232

出生 8 死亡 31

転入 37 転出 46

世帯数 9,147

市の人口

※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。

「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
 (〒321-0692那須烏山市中央1丁目1
 番1号)あて、郵送で作品を応募ください。

あめ色の二尺の差しは内職に貧をしのぎし亡
 母のお宝 川俣登志子(旭)
 湯上がりに手足の静脈じつと見る河川のうね
 りの地図見る如く 石川 ミチ(大桶)
 白大豆秋ふかまりて色を増し畑一面黄花の如
 し 平野フミ子(向田)
 天高く枯れ葉ころがる縁台に輝く光のぬくも
 りを浴ぶ 川手 トヨ(金井)

短歌

滝口 節子 選

父母逝きし秋風冷えて石碑拭く 森 豊(中山)
 茸狩り目籠一杯昭和の日 小堀 翠泉(中央)
 高いは利益なければ命とり 川上美智男(大里)
 桐田刈り涼風がきて一休み 笹崎 宗太(ハケ代)

川柳

篠崎 酔月 選

境内のおしくらまんぢう枯葉の子 板橋 陽子(岩子)
 コシヒカリを送る楽しみ里の秋 坂本 蓉子(大金)
 山を越え稲穂の彼方雲巖寺 古内 晴代(金井)
 一本は天まで届け冬木立 幸子(南大和)

俳句

水野 信一 選

文芸コーナー

那須烏山市武道館前に 遊具を設置しました

市では、市武道館前のスペースに、ブランコ、ジャングルジムなどの遊具を設置しました。

12月下旬にオープン予定ですので、ぜひ、家族連れでお越しください。



📷 なすから特派員通信 [星洋子特派員]



🌿 hoshi_y_0605

烏山国見みかん園🍊
 絶賛開園中ですよ😊
 酸味強めですが味が濃くて美味しいです
 ㊦㊦

#那須烏山市 #なすから
 #なすから #五感で楽しむ那須烏山
 #なすから特派員



コメントを追加...

投稿する

※現在は閉園しています。

なすから特派員の皆さんは、那須烏山市での暮らしぶりをはじめ、自然、グルメ、遊べるスポットなど、なすからの魅力あふれる情報をそれぞれのインスタグラムで発信しています。

今回は星洋子 (@hoshi_y_0605) さんの投稿を紹介します。市東部の国見地区のみかん園を訪れた時の様子を紹介しています。国見のみかんは、酸味のしっかりとした濃い味わいが特徴の烏山名物です。他には無いみかんの味を楽しむことができますね。

今回紹介したもののほか、インスタグラムで那須烏山市の暮らし「なすからいふ」を発信中！なすから特派員の皆さんの投稿は、ハッシュタグ「#なすから特派員」で検索してご覧ください。



NASUKARA.PR



南那須中



烏山中

中学校で文化祭

南那須中で10月23日(土)に、烏山中で11月17日(日)に文化祭が行われました。

文化祭当日は、合唱やダンスなど練習の成果を発揮する生徒の姿が見られ、クラスごとの個性が光る文化祭となりました。

医療共済
メディフル **新型コロナウイルス 保障対象!**

Point 1 1日入院で治療共済金30万円が受け取れます ※1

Point 2 一生涯保障や先進医療保障など、自由に設計できます

JA なす南本店 共済課 96-6165 ※1 治療共済金額30万円の確立

●南那須支店 88-7121 ●烏山支店 83-2111
 ●馬 頭支店 92-2711 ●小川支店 96-2131

JA共済 (21096010178)

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。ご契約に際しては、「重要事項説明書(重要事項情報)」および「ご契約のしおり(約款)」を必ずご覧ください。

なかがや 日本料理

おせち 日本橋で修行した店主の味

25,000円 8寸 (消費税・配送料込) 2段重

TEL.0287-83-8202

321-0417 栃木県那須烏山市上境1141-1

有料広告